

高生第194号
建第10-13号
令和4年7月15日

各関係施設等の長 様

鹿児島県くらし保健福祉部
高齢者生き生き推進課長
介護保険室長
鹿児島県土木部
建築課住宅政策室長

「爆発的感染拡大警報」発令等を踏まえた対応について（通知）

本県の高齢者福祉行政の推進につきまして、日頃より御理解、御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本県においては、7月12日に、県内の新型コロナウイルスの新規感染者が1,517人と初めて1,000人を超え、4日連続で1,500人を超える感染者が確認されるなど県内各地で感染が拡大しており、高齢者施設においてもクラスターが確認されております。

このような状況から、本日付けで、県内全域に「爆発的感染拡大警報」を発令することとなりました。

各関係施設等におかれては、これまでも感染防止対策に取り組んでいただいているところですが、今回の感染拡大警報発令等を踏まえ、これまで送付している通知等を再確認していただき、特に下記の点に留意した上で、ワクチンを3回以上接種された方も、油断することなく、引き続き感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

感染力が強いオミクロン株の派生型のBA.5系統の影響で今後、さらに爆発的な感染が拡大する可能性があります。引き続き、強い警戒感を持って、感染防止対策にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、通所介護、老人短期入所事業所等を併設されている施設等におかれましては、各事業所への周知についても併せてお願いします。

記

- 1 面会については、緊急やむを得ない場合を除き、面会を制限する（オンライン面会等の感染のおそれのない面会を除く）等の対応
- 2 「3ない運動」、「3つの黙」（別添1）及び「コロナ対策 チェックリスト」（別添2）による自主点検等の感染防止対策の徹底
- 3 外部からウイルスが侵入することがないように、職員や在宅の利用者等については、健康管理及び体調不良時の出勤やサービス利用を控える等の対策の徹底
- 4 職員や利用者で発熱等の症状がある方の速やかな医療機関の受診・検査

（問合せ先）

鹿児島県くらし保健福祉部高齢者生き生き推進課
施設整備係（担当 有川）
電話：099-286-2703
介護保険室事業者指導係（担当 島中）
電話：099-286-2687
鹿児島県土木部建築課住宅政策室
住宅企画係（担当 平野）
電話：099-286-3740

鹿児島県知事緊急メッセージ

新型コロナウイルス感染症の 爆発的な感染再拡大に伴う県民の皆様へのお願い

令和4年7月15日
(新型コロナ対策課)

■はじめに

- 新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染再拡大を受けて、県民の皆様に変更をお願いでございます。

■感染状況

- 本県の新規感染者数につきましては、7月に入ってから急増し、7月12日には、1,517人と初めて1,000人を超え、過去最多を更新し、3日連続で1,500人を超える感染者が確認されております。本日も、1,500人を超える多くの感染者が確認される見込みとなっております。
- 感染につきましては、離島を含め、県内各地で拡大をしております。また、全ての年代で増加しており、特に10歳未満や10歳代の子どもたち、その親世代となる30歳代や40歳代の感染の割合が大きくなっております。

■感染急増の要因

- 感染が急増している要因としては、より感染が広がりやすいとされるオミクロン株の派生型のBA.5系統への置き換わりが進んでいることや、ワクチン3回目接種から一定の期間が経過した方の感染予防効果が減衰してきていることなどの影響があるのではないかと指摘がございます。

■爆発的な感染拡大警報の発令

- 現在、病床使用率は徐々に上昇し、30パーセント台後半となってきておりますが、7月13日現在、重症患者は1人、酸素投与が必要な中等症Ⅱの患者は28人となっており、医療提供体制が現在逼迫している状況にはないと考えております。

- しかしながら、このまま新規感染者数の爆発的な増加傾向が継続しますと、重症化リスクの高い高齢者への感染が拡大し、重症患者の増加、医療提供体制の逼迫も懸念される状況であります。
- このような状況や専門家のご意見を踏まえ、本日、県内全域を対象として、「爆発的感染拡大警報」を発令いたします。
県民の皆様には、本県の感染状況をご理解いただき、改めて基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

■警戒基準・行動制限について

- なお、警戒基準はレベル2を継続することとし、現時点においては、特段の行動制限を行うことは考えておりません。

■医療提供体制（病床）の確保について

- 県としては、感染状況を注視し、入院が必要な方は適切に入院できるように、医療機関と連携しながら、引き続き、医療提供体制の確保に努めてまいります。

■学校における感染防止対策

- 県内では、学校や児童施設、高齢者施設等でのクラスターが多く確認されております。
- 学校では、部活動等における練習場所や更衣室等でのマスクなしでの会話や送迎時の車内の換気不足等による感染が確認されております。
夏休み期間中の部活動等の実施に当たっては、活動中、練習場所や部室、更衣室等の共有エリアの利用時や、部活動前後での集団での飲食や移動時など、それぞれの場面に応じた正しいマスクの着用や、こまめな手洗い、換気の徹底などを改めてお願いいたします。
- また、プールでの授業中や休憩時、更衣室等におけるマスクなしでの会話による感染も確認されております。
プールにおいては、会話などによる感染リスクを避けるため、大勢で密な状態とならないように注意してください。更衣室等においては、マスクなしでの会話を控え、密を避け、定期的な換気を行うなど、基本的な感染防止対策の徹底にご協力をお願いいたします。

■児童施設における感染防止対策

- 児童施設においては、食事や送迎待機時の子どもたちがマスクなしで密接な状態にあったことや、体調不良にもかかわらず登園したことに起因するクラスターが確認されております。
- 各施設におかれましては、今回の感染再拡大を踏まえ、「感染防止対策のチェックリスト」の積極的な活用などにより、更なる点検や感染防止対策の徹底を改めてお願いいたします。

■高齢者施設等における感染防止対策

- 高齢者施設では、食事や介助が必要な場面において、職員と利用者、または利用者同士が密な状態にあったことなどによるクラスターが発生しております。
- 重症化リスクの高い高齢者などの施設利用者への感染が拡大すると、医療提供体制の逼迫や死亡者の増加につながりかねないことから、高齢者の感染防止、特に高齢者施設等におけるクラスターの発生を防止することが重要であります。
- 高齢者施設等においては、これまでも、感染防止対策に取り組んでいただいておりますが、高齢者施設に新型コロナウイルスを「持ち込まない」「持ち込ませない」「拡げない」の『3ない運動』に引き続き取り組んでいただきたいと思います。
- 併せて、感染対策上、食べる時は黙って食べる、休憩場所でタバコを吸う時も黙って吸う、お風呂に入る時も黙って入る、いわゆる「黙食」「黙煙」「黙浴」の『3つの黙』の徹底も引き続きお願いいたします。
- また、今回の感染再拡大を踏まえ、「コロナ対策チェックリスト」による更なる点検、対策の徹底をお願いいたします。

■施設従事者等に対する無料PCR検査の優先的実施

- PCR検査については、県では、現在、県下258か所において、感染に不安のある方などを対象とした無料のPCR検査を実施しております。今回の感染再拡大を踏まえ、学校や児童施設・高齢者施設の従事者、児童・生徒を対象にした優先会場を、本日より7月31日まで、鹿児島新港と奄美空港に設置いたしますので積極的なご活用をお願いいたします。

■家庭内における感染防止対策

- 家庭内における感染防止対策でございます。感染経路について、家庭内で感染するケースが、最近でも全体の約5割を占め、依然として多く確認されております。家庭内においても、引き続き、帰宅時や食前・食後のこまめな手洗い、エアコンを使用している際も定期的に窓を開けるなど、換気の徹底をお願いいたします。
- また、高齢者や基礎疾患のある方と会話する時などは、家庭内でもなるべくマスク着用するなど、感染リスクを減らす対応をお願いいたします。

■職場等における感染防止対策

- 感染は、県内全域で拡大しておりますが、事業者の皆様におかれましては、社会機能維持のため、テレワークの活用や従業員の体調管理を徹底し、少しでも体調が悪い場合には休暇を取得できる環境の確保に努めていただきたいと思います。

■移動・外出

- 移動・外出については、今後の3連休や夏休みの期間中、移動や外出の機会も多くなると思います。また、六月灯や夏祭りなど、イベント等で人が集まる機会も多くなると思います。
- 移動や外出に当たっては、体調管理をしっかりと行っていただき、喉の痛みや倦怠感など少しでも体調の異変を感じた場合には、外出・移動を控え、早めにかかりつけの病院等の地域の医療機関にご相談いただくようお願いいたします。
- また、無症状であっても感染の不安のある方は、移動を控え、県の無料PCR検査等をご活用いただきたいと思います。

■ワクチン接種（3回目・4回目・小児）の促進

- ワクチン接種につきましては、市町村と連携して3回目接種、また重症化予防を目的とし、高齢者等を対象とした4回目接種を進めております。
- 3回目のワクチン接種については、10代から40代の若年層の接種率が依然として低い状況となっております。

現在、新規感染者の約半数は、この若年層となっております。
3回目のワクチン接種により、発症予防効果や重症化予防効果が回復するとされております。

- また、5歳から11歳までの子どもへのワクチン接種については、メリットとデメリットを十分にご理解いただいた上で判断していただければと思います。
- ご自身の健康を守り、また高齢者の方や小さいお子さんへの感染予防として、ワクチンの接種を希望される方は、早めの接種をお願いいたします。

■マスク会食の徹底、第三者認証店の利用

- 会食等についてですが、これから、友人や親戚、ご家族での会食の機会も増えると思います。
- 会食については、第三者認証店など、感染防止対策を徹底しているお店をご利用いただき、マスク会食などの感染リスクを下げる取組や、お店の感染防止の取組へのご協力をよろしくお願いいたします。

■終わりに

- 現在の感染状況が継続しますと、医療提供体制が逼迫するのではないかと危惧しております。
- 県民の皆様方お一人お一人の感染防止対策が、ご自身はもとより、ご家族や友人、また、地域を守り、今後の感染急拡大を防ぐことに繋がります。
- 改めて、本県の感染状況や感染防止対策についてご理解いただき、こまめな手洗いや手指消毒、換気の徹底、場面に応じた正しいマスクの着用など、基本的な感染防止対策を徹底し、強い警戒感をもって、「うつらない」、「うつさない」行動を心がけていただきたいと思います。

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

(3ない運動)

別添1

持ち込まない

利用者

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

- 通所サービスは、体調が悪い時は利用を控えよう
- 家族の体調や、県外との往来にも気をつけよう

持ち込ませない

施設

- 体調の悪い職員は必ず休ませよう
- 体調の悪い入所者・職員は、早めに医師に相談を
- 面会はリモートで
- 感染リスクが高まる「5つの場面」を避けよう

【感染リスクが高まる5つの場面】

- ① 飲食を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

拡げない

施設

- 食事の時は、距離を保って、黙って食べよう
- 職員は休憩、更衣時でもマスク着用、喫煙スペースでも会話を控えよう
- 脱衣所では、距離を保って話さない、入浴介助も会話を控えよう
- 職員はマスク着用を徹底しよう（利用者さんにも協力を）

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

POINT！

三つの「黙」

- ① 食事の時は距離を保って黙って食べる
(会話は食事後、マスクを着けて)

黙食

- ② 職員は休憩、更衣時でもマスク着用、喫煙所では話さない(徹底してください)

黙煙

- ③ 脱衣所では距離を保って黙って入浴
(職員は目の保護とマスクの着用)

黙浴

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

自分たちを守るための対策をしましょう

コロナ対策 チェックリスト



監修：川村 英樹

鹿児島大学病院感染制御部 副部長

ICT チーフ 特例准教授

①いつでも実施：コロナ対策としてよりも、いつでも実施する対策

②コロナ対策：新型コロナウイルス感染症に特化した対策

③対策グレードアップ：①②ができていればより強化するための対策

	● 手指衛生	● 環境整備	● 個人防護具	● マスク	● 換気	● 食事	● 入浴介助
いつでも実施	<input type="checkbox"/> 手指衛生 1 処置・1 患者ごとに手洗い	<input type="checkbox"/> 環境整備 1 日 2 回は清拭（清掃）	<input type="checkbox"/> 個人防護具（PPE） 汚染されるリスクがある場合は着用	<input type="checkbox"/> マスク 医療従事者はサージカルマスクを着用	<input type="checkbox"/> 換気 時間で換気 対角線上で窓を開ける	<input type="checkbox"/> 食事 対面でない 眼を保護する	<input type="checkbox"/> 入浴介助 マスク着用 眼を保護する
コロナ対策	<input type="checkbox"/> 首より上× ※手指衛生をしていない手で首から上を触らない（眼・鼻・口など）	<input type="checkbox"/> 0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液 <input type="checkbox"/> アルコール（60%以上のエタノール）	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> キャップ	<input type="checkbox"/> サージカルマスクを着用 <input type="checkbox"/> 共有スペースでは患者も着用	<input type="checkbox"/> 換気扇作動（常時）	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を着用 <input type="checkbox"/> 職員も対面での食事を禁止 ※食事中に会話しない。会話するならマスクをつけて！	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を着用 ※とにかく眼の保護
対策グレードアップ	<input type="checkbox"/> 開封日記載 <input type="checkbox"/> 使用期限記載 <input type="checkbox"/> 継ぎ足し× ※空にして洗浄乾燥後に補充 <input type="checkbox"/> 携帯用 <input type="checkbox"/> 使用量調査	<input type="checkbox"/> 使用期限 ※次亜塩素酸ナトリウム溶液は 24 時間 <input type="checkbox"/> 噴霧はしない <input type="checkbox"/> 手順を作る <input type="checkbox"/> 記録を残す	<input type="checkbox"/> 備蓄を準備 <input type="checkbox"/> 補助金活用 <input type="checkbox"/> 布エプロン廃止 ※購入できない場合はビニール袋をつける or 作る	<input type="checkbox"/> ユニバーサルマスキング ※常に全員がマスク着用 <input type="checkbox"/> 症状ある場合は必ずサージカルマスク <input type="checkbox"/> N95 マスクはユーザーシールチェックを	<input type="checkbox"/> 常時 5 cm窓を開放 <input type="checkbox"/> 1 時間に 5-10 分窓を開ける <input type="checkbox"/> 陰圧室 <input type="checkbox"/> クリーンパーティション <input type="checkbox"/> HEPA フィルター付空気清浄機 <input type="checkbox"/> CO ₂ 測定	<input type="checkbox"/> パーティション設置 <input type="checkbox"/> ソーシャル・ディスタンス <input type="checkbox"/> 時間分離	



土屋 香代子

（感染管理認定看護師）



吉森 みゆき

（感染管理認定看護師）



齋藤 潤栄

（感染管理認定看護師）

似顔絵
イラストレーター
山元 怜

<重要なポイント>

- 咳やくしゃみでウイルスを飛ばさない（咳エチケット）
- 汚染してもウイルスの量を減らす（環境整備）
- 直接ウイルスを浴びない（個人防護具・特に眼）
- 自分の手から口腔・鼻粘膜・眼に入れない（手指衛生）

※相談窓口：鹿児島看護協会 TEL099-256-8081 FAX099-256-8079

鹿児島県医師会 COVID-19 感染症相談窓口 TEL099-254-8121 Email covid19-consult@kagoshima.med.or.jp

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（中小規模病院用）：https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/document/pdf/tool_hospitals.pdf

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（高齢者福祉施設用）：https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/document/pdf/tool_elderly.pdf